

2学年だより

はばたけ！

第41号 平成31年 1月31日

「はばたけ！」は生徒と保護者のみなさんに向けて書いています。 上原中 HP 見てください: <https://www.fureai-cloud.jp/uehara-j/>

お詫びと訂正

①前号に「23日の学年集会では、<木材について><建築家 隈研吾さんについて>も学びましたね。欠席だった人もいるので、裏面に集会で表示した資料を掲載します。」と書いておきながら、裏面を白紙で発行してしまいました。申し訳ございません。今号に掲載します。

②前号に掲載した校外学習の班別行先一覧における班の表記に誤りがありました。下に訂正いたします。

42組2班	42組3班	42組4班	42組5班	43組4班	43組5班
今村 班長	森絢介 班長	西山 班長	富井想人 班長	竹村 班長	野田 班長

③3組2班(平班長)は、昭和館にも行きます。

以上、多数の誤りや欠落がありましたことをお詫び申し上げ、上のおとり訂正いたします。

校外学習～自分の役割をまっとうしよう～

『生徒会新聞』にグラッサムくんが書いていたとおり、2年生の校外学習は班行動なので、(学級・学年で行動した山中移動教室以上に)一人一人の役割の重さが増します。班長・副班長・学習・会計・保健、それぞれの役割をまっとうしましょう。役割をまっとうするということは、具体的に行動することです。具体的な行動については『校外学習のしおり』に載っています。詳しくは6時間目の事前学習で実行委員が話します。

<校外学習役割一覧> ★が実行委員

組	班	班長	副班長	会計	会計	学習	保健
1	1班	市川	大久保	渡邊	松野	大塚	近藤(拓)
	2班	土田★	小笠原	鶴飼		平光	富井(翼)
	3班	グラッサム	栗原	シューブ	亀井	吉澤	鈴木(悠)
	4班	森(崇)	坂田	小川	中込	須田	鈴木(海)
	5班	村木★	古賀	元		鈴木(遊)	田辺
2	1班	南	天野	小野寺	本多	松本(大)	松永
	2班	今村	山本	宮崎	吉田(好)	長谷川	生山
	3班	森(絢)	佐藤	鈴木(晴)	大野	川島	横川
	4班	西山★	高橋(捷)	小澤		堀井	葛西(晟)
	5班	富井(想)★	白石	田中	鈴木(佳)	岡村	今井
3	1班	近藤(幸)★	大友	阿部		小林	ビン
	2班	平★	岡島	花香	天川	高橋(由)	小山
	3班	高橋(隆)	保岡	松本(流)		松井	アイン
	4班	竹村	川崎	猪狩	石井	葛西(計)	石原
	5班	野田	吉田(社)	三宮	川辺	戸塚	樋口

2学年だより

第 号 平成 年 月 日

以前のように、また誰か書いてください。やはり個性がほしい。

2月3日は第10回中学生東京駅伝大会

「中学校で行われている授業、部活動などの取組を生かし、中学2年生限定で区市町村対抗で行う駅伝大会」それが東京駅伝大会です。上原中学校2年生からは、なんと3人も選考を通過して選手に選ばれました。

村木さん 高橋捷くん 高橋隆くん

みんなで応援しましょう！

◎当面の授業◎

2月	4日(月) 学年朝礼(国語 MC 付近)			5日(火)			6日(水)B 時短		
1	学活 *校外学習事後学習レポート作成 1/2			理科 曾根田・下口 理科2・1	国語 佐藤 国2	国語 板垣 国1	国語 佐藤 国2	体育 勝又・岡野	社会 伊藤 社1
2	社会 伊藤 社1	数学 関・藤原・荒川 数2・1・視	数学 関・藤原・荒川 数2・1・視	数学 藤原・荒川 数1・視	国語 板垣 国1	体育 勝又・岡野	英語 太田・才丸 英1・2	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1
3	音楽 今井 音楽室	英語 太田・才丸・加藤 英1~3	英語 太田・才丸・加藤 英1~3	英語 太田・才丸 英1・2	数学 関・藤原・荒川 数2・1・視	数学 関・藤原・荒川 数2・1・視	国語 板垣 国1	国語 佐藤 国2	体育 勝又・岡野
4	体育 勝又・岡野	社会 伊藤 社1	音楽 今井 音楽室	社会 伊藤 社1	家庭 宮坂	国語 佐藤 国2	数学 藤原・荒川 数1・視	社会 伊藤 社1	国語 佐藤 国2
5	国語 佐藤 国2	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1	体育 勝又・岡野	音楽 今井 音楽室	家庭 宮坂	自宅学習15時まで *課題は未定		
6	総合 *校外学習事後学習レポート作成 2/2			家庭 宮坂	体育 勝又・岡野	社会 伊藤 社1			

2月	7日(木)			8日(金)		
1	体育 勝又・岡野	英語 太田・才丸・加藤 英1~3	英語 太田・才丸・加藤 英1~3	技術 茶谷	国語 佐藤 国2	社会 前澤 社2
2	国語 佐藤 国2	数学 関・藤原・荒川 数2・1・視	数学 関・藤原・荒川 数2・1・視	社会 前澤 社2	技術 茶谷	体育 勝又・岡野
3	英語 太田・才丸 英1・2	体育 勝又・岡野	美術 唐鎌 美術室	数学 藤原・荒川 数1・視	社会 前澤 社2	技術 茶谷
4	理科 曾根田・下口 理科2・1	美術 唐鎌 美術室	国語 佐藤 国2	理科 曾根田・下口 理科2・1	英語 太田・才丸・加藤 英1~3	英語 太田・才丸・加藤 英1~3
5	美術 唐鎌 美術室	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1	英語 太田・才丸 英1・2	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1	理科 三宮・曾根田・下口 理3・2・1
6	道徳			総合 *三送会準備◎		

**2年生としての登校日は
残り135日です**
毎日全員が会えるようにしよう
吉澤くんの『生徒会新聞』記事によれば、水分補給をして粘膜からウィルスをはがしてしまえばOKとのこと。
こまめに水分補給をして、
35日全員会おうぞ！

保護者のみなさまへ まだ日時は確定していませんが、今年度最後の音楽の授業では保護者の方を招いての「音楽会」を行います。今年度取り組んだ音楽(打楽器、創作合奏、琴演奏など)をもとにプログラムを組み、1人1演目以上参加します。是非、お越しください。

建築家 隈 研吾さんへのインタビュー！ ~21世紀は木の世紀~

世界的な建築家である隈研吾さんは「21世紀は木の世紀になる」と考える。木材の技術開発は進み、耐火・耐久性能が上がり、最先端な素材となった。世界の建築家達も、木造建築に注目している。



Q 木の何が魅力的なんですか？

A 僕は「intimacy(親密さ)」という言葉を使いますが、木造建築では細い柱を何本も立てる必要があるため、必然的に空間のスケールが小さくなります。加えて木の色合いや手触りにも独特の温かみがある。木を使うことで、人間の身体感覚に非常に近い、intimate(親密)な空間になると感じます。

Q 環境面でのメリットも、木を重視する理由の一つですか？

A もちろんそうです。木が二酸化炭素を吸収することはご存知だと思いますが、木材として建物に使われている間も、木はそのまま二酸化炭素を閉じ込めています。つまり、木造建築を増やすことは、地球温暖化の抑止につながる可能性があるということです。

そのうえ森の木々は、土壌を保全し土砂災害を防ぐ、水害を防ぐ、地下水を浄化する、生き物たちにすみかを与える、といった役割も果たしています。

こうした森の機能を維持するには、木を切って使い、また植えるという循環が必要なんです。今では木の利用を増やすことは子どもたちの未来のためにも大切なんだと自信を持って言えるようになりました。

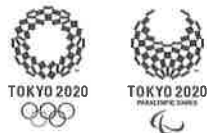


Q 隈さんはこれまで、木を組んだ建築物を設計されてきましたが、木造とコンクリートでは、耐久性の違いはありますか。

A 素材だけの性能でいうと、木のほうが優れている。コンクリートは、弱ってきたときに見た目では分からない。木は、傷んできたときに、「あ、腐ってきたな」ということが分かる。分かるということが、実は耐久性だと思っている。法隆寺が世界のどんな建築よりも長持ちしているのは、傷んでいる木を取り替えてきたから。古くなったものを取り替えることは、人間社会においても健全だと思う。コンクリートだと、弱っているか分からなくて、突然壊れて、みんな怪我してしまう。システムとして不完全だと思います。

Q 新国立競技場に多くの木が用いられると聞きました。「杜のスタジアム」がコンセプトですよ

A 軒庇には 47 都道府県すべての木を使用しています。北側には北海道や東北、南側には九州や沖縄の木材というように、スタジアムから見た方位に合わせてわかりやすく配置するので、「これは自分のふるさとの木だ」と、見つけてもらいやすい。建築のこういう楽しみ方は、今までなかったと思います。僕にとって面白かったのは、各県産の木材が、予想以上に違ったこと。色合いも年輪の入り方も、ここまで違うかと思うぐらいです。他の素材であちこち色が違えば怒られるでしょうが(笑)、木だとそれを「味」として見てもらえる。そうした味を採り入れたデザインができるというのは、むしろ面白い挑戦です。



Q 歌舞伎座や高輪ゲートウェイ駅も含めて、隈さん設計の木の建築が東京には増えていますね。

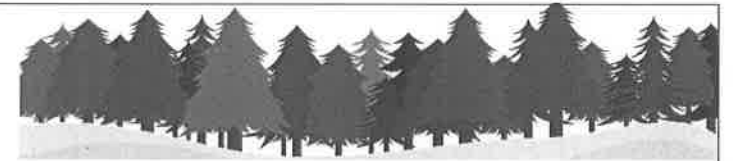
A 関東大震災と第2次世界大戦が風景を一変させるまで、東京は木の街だったんです。2020年に世界中の人が集まる東京から、コンクリートを卒業した新しい木の文化を発信することができれば、それは環境の世紀である21世紀の力強いメッセージになると思います。

Q 今後、木の利用を促進するために必要なことは何でしょう？

A 現在は林業だけでなく、木材の加工や流通などの各分野で担い手不足が深刻ですので、人材育成は急務でしょう。同時に大学の建築学部では、木の利用がどう森の保全につながるかを理解した建築家を育てていく必要があります。

もうひとつ大切なのは、木に関心を持つことです。僕は、もしも多くの人が望むなら、将来は建築における鉄やコンクリートと木の比率を逆転させることも十分に可能だと思います。都市には多くの木造建築が立ち並び、郊外には豊かな緑が広がっている。そうして暮らしの中にもっと多くの木が溶け込んだ時、世の中は思った以上に変わっていく気がしています。

課題1 空欄に適語を記入せよ。



- ① 木造建築を増やすことは、「 _ _ _ _ 化の抑止」につながる可能性がある。
- ② 森の機能を維持するには、木を切って使い、また植えるという「 _ _ 」が必要。
- ③ 法隆寺が長持ちしているには、「 _ _ _ _ いる木」を取り替えてきたから。
- ④ あちこち色が違って、木だとそれを「 _ _ 」として見てもらえる。
- ⑤ 木材に関わる人材育成が「 _ _ _ _ 」, 大切なのは多くの人が「木に _ _ _ _ を持つ」こと。

課題2 コラボノートに2点記入する。宿題です。28日朝8:00まで

- ①昨日と本日で学んだ内容 ②学習をとおしての感想・意見・考えたこと。

「2年校外学習」というノート。クラスごとにページが違います。
 タイトルカラー 1組緑 2組黄 3組青。自分の出席番号の枠に、ふせんを貼って書き込むこと。
 ふせんの色は自由。

【引用】 朝日新聞(2018. 12. 11) 建築家 隈研吾さんインタビュー「新しい木の文化は 21世紀へのメッセージ」

現代ビジネス(2015. 09. 24)「21世紀はなぜ“木の世紀”なのか? ~正しい建築に最も重要なのはサステナブル~」